

全国中小業者決起大会ひらく

中小業者に仕事と資金を！ 消費税増税に反対しよう

札幌中部民商

札幌市中央区
南1条西14丁目
TEL281-2808
FAX281-2832
Eメール
info@tyu-min.com

今週号は裏面も
ありますので、ご
覧下さい



▲大会終了後、国会までデモ
行進を行う参加者(中央団体の
後ろが北海道)

**全国から45万人分の署名が集まる
中部民商からは1700人分を提出！**

「と訴えました。」と訴えました。国会報告を行った日本共産党の吉井英勝衆院議員は「異常な国会状況の中で、自公政権は行き詰まっています。今の金融危機は政治災害です。解散・総選挙で中小業者が主人公の政治を実現しましょう」と訴えました。

**今こそすべての中小業者が総決起を
中小業者が主人公の政治を実現しよう**
主催者を代表して国分稔代表幹事(全商連会長)は、「いくつかの業界団体を訪問しているが、どこでも今の政治に対する怒りと構造改革路線は間違っていたと言っている。今こそすべての中小業者が総決起して仕事と資金を回させよう」と挨拶しました。



▲中小業者に仕事と資金を回せと
多くの業者が参加した決起大会

参加者の決意表明では、団体や各地での運動や業者の怒りの実態が報告され、北海道からは苦小牧民商の盛会長が「貸し渋り・貸しはがしを許さない運動を起こしていこう」と訴えました。大会終了後、参加者は国会までデモ行進を行い道行く人々にアピールしました。

融資を受けて商売を頑張ろう 全商連が融資獲得運動交流会開く

13日に行われた「融資獲得運動交流会」には、42県連から128人が参加しました。

報告と問題提起では、全国的な融資獲得運動や成果が報告され「融資獲得運動は中小業者の『生き死に』に関わる緊急・切実な問題であり、どう取り組むかは民商の存在意義にも関わる重要課題」と強調。「融資を受けることは中小業者の権利。とにかく借りて商売を続けよう」と訴えを広げる事、商工新聞の活用と拡大を強めようと呼びかけました。

代表発言では、「11月に開いたなんでも相談会が好評で80人が相談に来て30人が入会」、「口座がなくても、開設して1回でも動きがあれば、窓口になるとすべての銀行で回答を得た」等5人が取り組みの成果を発言しました。

討論では、「税金滞納あったが、商工新聞を見せて金融公庫と交渉。融資が決定」「断られてからが勝負という構えでチャレンジを繰り返すと、どこも真剣に対応するようになっていく」「スナックは指定業種ではないと保証協会が保証を拒否したが、民商の申し入れの中で保証させた」など各地のリアルな状況が報告されました。

交流会終了後は、実際に申し込みの手順などの実務を学びあいました。



集まって話し合い相談しあおう 各支部で班会開かれる

中部民商では、「集まって、話し合い、相談し、助けて、営業と生活を守る」班活動を進めようと、各支部での取り組みが進められています。ススキノ支部では、現在2つの班が毎月班会を開催し「一人でも多くの会員に参加してもらおう」と班長を中心に声をかけています。新しい参加者も増えて、ワイワイ楽しい雰囲気で行われています。中4支部では、14日に初めての班会を開き5人が参加。呼びかけた稲田常任理事(常任理事)が「確定申告や融資などの要求相談を、役員を中心にみんなで力を合わせて解決できるように頑張りましょう」と呼びかけ、新班長に稲田氏を確認し、当明月1回の班会を実行していこうと進めています(写真)。



▲班会の必要性を語る稲田常任理事
(左端)の訴えに耳を傾ける班員の皆さん